



令和2年度 学校経営方針(公約)

～ 新しい時代を築く「未来の守護者」たち ～

今年度のキーワードは『**つながる・守る・切り拓く**』です。とりわけ、コロナ渦により、社会が切り離される中、人と人との『つながり』を重視します。子供たち同士、教員と子供、学校と家庭・地域、それぞれが本音で語り合える、風通しの良い雰囲気をつくっていきます。

子供にとっては、つながりの基盤である言語能力の育成とともに、自己有用感の醸成を目指します。教員は、言葉を通して相互理解を図ることで、子供たちにとって親しみやすく、心を開いて相談できる存在になり、子供たちを守ります。学校は、家庭や地域に対し、開かれた教育課程の実現を目指し、説明責任を果たし、あらゆる『つながり』を密にします。

そして、すべての大人が協働し、全力で、「自分を信じ、友を信じ、信頼できる社会を切り拓き、創造していく」子供たちを育てて参ります。

未来の守護者 のために

外国語活動の充実

- 担任と英語が堪能な人材が協力しながら授業を進めます。英語教育推進リーダーが全学級の授業の指導方法などを支援します。

言語活動の充実

- 校内研究の「書くこと」を中心に、学校司書とともに専門家を招聘し、全教科で図書館を効果的に活用した言語活動を充実させます。

未来を

切り拓く

多様な人々が

つながる

一人に一つの命を

守る

学校図書館活用能力・言語能力の向上

主体的・対話的で深い学びの視点で、「どのように学ぶか」を重視します。

誰もが安心して過ごせる子供にやさしい学校

情報教育の充実

- ICT環境を整備し、情報モラルを含むリテラシーとともに、「わかった、できた」が実感できる授業とプログラミング教育を推進します。

特別支援教育の充実

- さくら、きこえとことばの強みを生かし、SCとともに学級満足度調査を効果的に活用し、一人一人の児童に全教員が深く関わります。

他にも様々な重点課題に取り組んでいきます。

臨時休校に対応する柔軟な教育課程

教育の質を高める働き方改革の具現

学び続ける教職員職員研修の充実

開かれた学校づくり学校HPの充実

目指すのは

「社会に開かれた教育課程」の実現

梵事徹底とは、革新的なことや特別のことではなく、目の前の課題をしっかりと捉えて「やるべきことを、当たり前のことを、徹底してやること」です。当たり前のことを徹底してやり抜くことで、富士見丘小学校の新たな歴史を創造して参ります。

梵事徹底
誰でもできる平凡なことを
誰もががてきまぬくらい
徹底して続けること
それが自体が非凡となる
小さなことこそ
積み重ねてこそ成功